

第2次鴨川市学校適正規模検討委員会第2回会議の概要

前回会議の概要について

議事（1）前回会議において要請のあった資料等提示について

- ・ 長谷川学校教育課課長補佐が資料1の写真を用いて耐震補強工事を行った箇所や各小学校校舎、屋内運動場、園舎等の現況等について説明を行った。
- ・ 長谷川学校教育課課長補佐が資料2を用いて鴨川市の0歳児から小学校6年生までの人数の男女別内訳の説明を行った。
- ・ 蒔苗教育次長が資料3を用いて現在の教職員定数と複式学級が増えた場合の定数の変化について説明を行った。

議事（2）学校適正規模及び幼保一元化の検討について

各委員から出された意見・質問等について

- ・ 耐震補強工事のブレースはおおよそどれくらいの費用がかかるのか質問があり、概算で1箇所あたり500万円、東条小学校では2億7千万円、天津小学校では1億4千万円の事業費であったことを回答した。
- ・ PTA代表の委員から、地元で行われた懇談会で出された意見の報告があった。また、会議を開いていない地区からは、現在聞いている意見や今後、会議を開催して意見を聞いていきたいなどの報告があった。
- ・ 自治会代表の委員から、地元で行われた会議の様子が報告された。また、統合してバス通学になった場合、国道の横断が問題となることから安全対策について要望があった。また、会議を開いていない地区からは、現在聞いている意見等について報告があった。
- ・ 天津保育園の移転についてテーマを絞り込み議論を行い、以下の意見等があった。
天津保育園の津波避難体制について質問があり、3.11の際の対応等を回答した。
保育園の移転案について質問があり、福祉課羽田課長から施設の現況と移転案検討の経緯等について説明を行った。移転案では天津小学校校舎1階に幼稚園を移動し、空いた幼稚園園舎を改修して保育園を移設する案と、天津小学校校庭の一部に保育園施設を建設する案の2案を説明した。
幼保一元化は施設整備中心に考えてしまいがちだが、再度幼保一元化の意味・理由について教えていただきたいという意見があり、教育長から鴨川方式と呼ばれる現在の幼稚園教育をしながらの預かり保育やこれまでの取り組みの経緯について説明を行った。

検討委員会として、天津保育園を移転すべきであるという意見にまとまった。

- ・ 江見地区でも預かり保育を早期に実施してほしいと要望があった。
- ・ 施設一体型と分離型の幼保一元化について福祉課長から説明を行った。
- ・ 長狭地区の小中学校統合や幼保一元化の取り組みを例として、バス通園の様子や交通安全対策等について説明を行った。
- ・ 会議録の公開について質問があり、不審電話への対応等から発言者の名前を表記しないよう要望があった。検討委員会としての対応を協議した結果、市職員については、出席者の名前を表記し、委員は「委員」として表記することとなった。